

令和4年度事業報告

(自 令和4年4月1日 ~ 至 令和5年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

I. 美術館運営事業

1. 展覧会の開催

MOA美術館を年間302日、箱根美術館を年間307日、それぞれ開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展を開催した。

(1) MOA美術館 (総入館者数 319,741名)

① 大蒔絵展 漆と金の千年物語

令和4年4月1日(金)～5月8日(日)(期間入館者数 37,253名)

出陳件数 194件

MOA美術館、三井記念美術館、徳川美術館の3館共同開催で、平安時代から現代の漆芸家作品にいたるまで、3会場であわせて70点以上の国宝・重文をはじめ名品の数々を紹介した。

② 所蔵 富嶽三十六景と東海道五十三次

令和4年5月13日(金)～7月18日(月)(期間入館者数 46,217名)

出陳件数 110件

浮世絵風景版画の中でもシリーズものとして双璧をなす葛飾北斎「富嶽三十六景」と歌川広重「東海道五十三次(保永堂版)」を、生き生きと表現された人物描写等を軸に紹介した。

③ 井上涼展 キラキラ☆ゴールデンびじゅチュ館

令和4年7月22日(金)～8月28日(日)(期間入館者数 49,263名)

出陳件数 30件

金が用いられたアートをテーマに、工芸家の指導のもと、井上涼が制作した作品や新作アニメ作品、「紅白お泊まり会図屏風」などを展示した。

④ 開館40周年記念名品展 第2部

令和4年9月1日(木)～10月25日(火)(期間入館者数 45,358名)

出陳件数 63件

各時代の美術文化を語る上で欠くことの出来ない作品を含む岡田茂吉のコレクション中より中国絵画、中国陶磁器、風俗画、浮世絵、仏教絵画、青銅器等を展示

した

- ⑤ 伝統工芸×コンテンポラリーアート 中川衛+舘鼻則孝展
令和4年9月1日(木)～10月5日(水)(期間入館者数 30,906名)
出陳件数9件
文化庁の令和3年度伝統工芸超分野交流事業(委託事業)における、中川衛と舘鼻則孝とのコラボ作品「Heel-less Shoes Downtown」の発表とともに、両氏の代表作を6室にて展観した
- ⑥ 明日の工芸 第22回岡田茂吉賞
令和4年10月7日(金)～10月25日(火)(期間入館者数 14,452名)
出陳件数8件
大賞を受賞した琉球紅型の城間栄市氏の作品など明日の工芸を担う8名の若手作家の作品を6室にて紹介した。
- ⑦ 開館40周年記念名品展 第3部
令和4年10月28日(金)～12月11日(日)(期間入館者数 40,559名)
出陳件数55件
江戸時代、芝居や遊里が人々の関心を集めるなか、写楽や歌麿、葛飾北斎といった浮世絵師たちは、人気歌舞伎役者の姿や演目内容、評判の遊女や茶屋で働く看板娘を数多く描いた。本展ではこれらの浮世絵をコレクションの中から紹介した。
- ⑧ HOMO FABER, 12 Stone Garden 深澤直人と12人の人間国宝
令和4年10月28日(金)～12月11日(日)(期間入館者数 40,559名)
出陳件数35件
イタリアのヴェネツィアで開催されたミケランジェロ財団主催「ホモ・ファーベル展」の帰国展として、深澤直人のデザイン空間と12名の人間国宝の伝統工芸を紹介した。
- ⑨ 未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ
令和4年12月17日(土)～令和5年1月23日(月)(期間入館者数 28,243名)
出陳件数139件
公益社団法人日本工芸会陶芸部会の50周年を記念し、伝統陶芸の活動の歩みと多彩な展開を、歴代人間国宝の名品をはじめ、新進作家らの最新作などを紹介した。
- ⑩ 名品展 国宝「紅白梅図屏風」
令和5年1月27日(金)～3月14日(火)(期間入館者数 52,044名)
出陳件数57件
「紅白梅図屏風」をはじめ野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、三大手鑑の一つとし

て著名な手鑑「翰墨城」の国宝3件の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選して展観した。

⑪ 特集陳列 人間国宝・中野孝一 蒔絵展

令和5年1月27日（金）～3月14日（火）（期間入館者数 52,044名）

出陳件数9件

躍動感と軽妙洒脱な作風が高く評価される重要無形文化財「蒔絵」保持者（人間国宝）の中野孝一氏の多年にわたる制作のなかから精選した作品を展観した。

⑫ 岩佐又兵衛 極彩色ワールド 重文「浄瑠璃物語絵巻」

令和5年3月17日（金）～5月23日（火）（期間入館者数 65,147名）

出陳件数8件

奥州へ下る牛若と三河矢矧の長者の娘浄瑠璃の恋愛譚を絵巻化した「浄瑠璃物語絵巻」は、金箔や金銀泥、緑青、群青など高価な顔料がふんだんに用いられ、登場人物の衣裳や調度が艶麗な色調で細微に描かれている。本作品全12巻を一挙公開した。

(2) 箱根美術館（総入館者数 87,543名）

① 常設展示

(a) 令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

(b) 別館

令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

創立者岡田茂吉の生涯と事蹟を、自筆書及びパネル等により紹介した。

② 特別展示

(a) 令和4年3月25日（金）～令和4年6月8日（水）

（期間入館者数：12,243名）

展示室1にて「開館70周年特別展示 吉田博」展の開催

(b) 令和4年6月18日（土）～令和4年9月28日（水）

（期間入館者数：14,482名）

展示室1にて「開館70周年特別展示 江戸時代の山水画と色絵の焼物」の開催

(c) 令和4年9月30日（金）～令和4年12月7日（水）

（期間入館者数：41,880名）

展示室1にて「開館70周年特別展示 茶の湯の道具」展の開催

(d) 令和4年12月9日（金）～令和5年3月22日（水）

（期間入館者数：8,968名）

展示室1にて「人間国宝と現代の工芸」展の開催

- (e) 令和5年3月24日(金)～令和5年6月7日(水)
(期間入館者数：未確定)
展示室1にて企画展示「色絵陶磁器」展の開催

(臨時休館)

令和5年2月10日(金)大雪による積雪と箱根全山通行止めのため

2. 調査研究

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

以下の研究課題の4年目は、コロナ感染症の規制が緩和したため、ベトナム・フエ調査、タイ・プーケット島調査、ベトナム・フーコック島調査を実施した。フエ宮廷古物博物館所蔵のベトナム螺鈿漆器については同館館長フン・ティ・アン・ヴァン博士とMOA美術館館長内田篤呉の共同執筆で、基準作例となる作品紹介を学会誌に発表した。

研究課題名：環南シナ海・インド洋海域が育む近世螺鈿の諸相と貝文化圏の構想
—シェルロード

研究代表者：内田篤呉

3. 賛助会員(友の会)の拡充

会員数 7,560名

4. その他

(1) 季刊誌の発行

財団活動を広く知らせるための「美の友」誌を、4月・7月・10月・1月の4回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

(2) 美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

II. 表彰・コンクール事業

1. 第33回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培うことを目的とした表記の全国展を開催した。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援(参加賞の提供等)を実施した。

(1) 選考方法

- ① 全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定した。

令和4年度：292会場 応募数186,954点 参加校5,581校

海外参加11か国（アメリカ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、タイ、バングラデシュ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル）

- ② 地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館の全国展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

(2) 賞の種類と点数

① 絵画の部（220点）

- (a) 文部科学大臣賞 6点
- (b) 外務大臣賞 3点
- (c) 厚生労働大臣賞 1点
- (d) 農林水産大臣賞 1点
- (e) 環境大臣賞 1点
- (f) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
- (g) 全国子ども会連合会会長賞 1点
- (h) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- (i) 審査員賞 2点
- 金賞から入選 203点

② 書写の部（80点）

- (a) 文部科学大臣賞 6点
- (b) 厚生労働大臣賞 1点
- (c) 農林水産大臣賞 1点
- (d) 環境大臣賞 1点
- (e) 日本PTA全国協議会会長賞 1点
- (f) 全国子ども会連合会会長賞 1点
- (g) ボーイスカウト日本連盟理事長賞 1点
- (h) 審査員賞 1点
- 金賞から入選 67点

③ 団体の部

- (a) 文部科学大臣賞学校奨励賞 6校
- (b) 厚生労働大臣賞 2実行委員会

(3) 表彰ならびに展覧会の開催

展 示：1月7日（土）～2月15日（水）

入賞入選300点と団体の部をMOA美術館円形ホールに展示した。

表彰式：1月29日（日）10：00～12：00 能楽堂

参加者 235名（受賞者、保護者、来賓）

- ・感染対策のため、金賞受賞37名が対象。
- ・能楽堂（501席）は1席ずつ開けて250席迄。

来 賓

- | | |
|----------------------------|------------|
| ・文部科学省教科調査官 | 豊口 和士 |
| ・厚生労働省子ども家庭局子育て支援課施設調整等業務室 | |
| | 室長補佐 土佐 昭夫 |
| ・農林水産省農産局長 | 平形 雄策 |
| ・環境省自然環境局国立公園利用推進室長 | 岡野 隆宏 |
| ・日本PTA全国協議会専務理事 | 比嘉 里奈 |
| ・全国こども会連合会副会長 | 内藤 進 |
| ・ボーイスカウト日本連盟専務理事 | 佐野 友保 |
| ・ボーイスカウト日本連盟事務局長 | 大久保秀人 |
| ・海外日系人協会事務局長 | 土方 晴美 |
| ・全国新聞社協議会事務局長 | 若相 貞之 |
| ・環太平洋大学副学長 | 村上 尚徳 |
| ・東京学芸大学教授 | 加藤 泰弘 |

(4) 児童作品展ホームページ開設を行った。(2022年4月1日公開)

2. 芸術選奨

(1) 第22回岡田茂吉賞

岡田茂吉賞は、昭和63年、日本美術界の発展に寄与することを目的として設立され、第22回を迎えた。過去の受賞者は73名に及び、現代を代表する芸術賞として評価されている。

本年は、大賞1名を選考、また日本の工芸の将来を担う若手作家を受賞候補に推薦し、作品を展示紹介、顕彰した。

① 審査会

令和4年7月16日（土）

（審査委員）

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 小笠原小枝 | 日本女子大学名誉教授 |
| 河合 正朝 | 美術史家・慶應技術大学名誉教授 |
| 中田 英寿 | 国立工芸館名誉館長 |
| 室瀬 和美 | 漆芸作家・重要無形文化財保持者
公益社団法人日本工芸会副理事長 |
| 内田 篤呉 | MOA美術館館長 |

(選考委員)

小山弓弦葉	東京国立博物館工芸室長
唐澤 昌宏	国立工芸館館長
黒川 廣子	東京藝術大学大学美術館館長
近藤都代子	東京藝術大学非常勤講師
佐々木正直	群馬県立館林美術館特別館長
原田 一敏	福山美術館館長
モニカ・ビンチュ	メトロポリタン美術館アジア美術部学芸員
矢代 勝也	MOA美術館 学芸部長

② 表彰

表彰式：令和4年10月8日(土) 於：MOA美術館応接室

展覧会：「明日の工藝 第22回岡田茂吉賞」

会期：令和4年10月7日(金)～10月25日(火)

③ 受賞者および推薦作品

大賞：城間 栄市	琉球紅型着物「波の歌」
推薦：津金日人夢	青瓷平壺 一水天彷彿一
和田 的	白器「ダイ／台」
奥井 美奈	乾漆箱「流れる」
高山 尚也	乾漆鉢「ながれ」
しんたにひとみ	乾漆銀平文はちす箱
佐故 龍平	杳目金打出捻六稜水指
山本 茜	截金硝子盛器「かささぎの橋」

(2) その他の賞の交付

- ① 東日本伝統工芸展 MOA美術館賞
- ② 日本伝統工芸展 奨励賞
- ③ 日本伝統漆芸展 MOA美術館賞

Ⅲ. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行なった。

また、日本の伝統的な建築（光琳屋敷、茶室）や庭園、或いは、能楽や舞踊、美術工芸、和食などの日本文化に触れ、体験する下記の事業を実施した。

(1) 体験プログラム（お茶、お花など）

① 旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の光琳屋敷や茶室一白庵のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。

当ガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修等にも活用され、その受け入れを行った。

② 光琳乾山忌茶会

令和4年6月2日・6月3日に京都・嵯峨野の庭園「平安郷」にて開催した。

参加者数 6月2日 177名 6月3日 131名 計 308名

③ ワークショップ（箱根美術館）

加盟する「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会」が企画・募集し、加盟施設を巡る「ミュージアムリレー」を5月11日に開催し、当館は近隣の「箱根写真美術館」「強羅公園」と共に1日で巡る企画として、展示解説、登録文化財「神山荘」内部や庭園等の見学をするプログラムで行なった。

(2) 能楽教室 体験・講座と能楽鑑賞

能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞を行った。

期 日：令和4年8月9日（火）

講 座：シテ方宝生流 辰巳満次郎

演目解説：能「土蜘蛛」 講師：シテ方宝生流 辰巳満次郎

狂言「苞山伏」 講師：狂言方和泉流 野村萬斎

鑑 賞：宝生流「土蜘蛛」 辰巳満次郎他

和泉流「苞山伏」 野村 萬斎他

参加者数：能楽器体験 60名、講座と鑑賞 431名

(3) Kōgei Dining（文化庁・日本博との共催行事）

鑑賞するだけでは知ることのできない工芸のもつ「用の美」を、参加者自身の手で確認していただく貴重な機会を提供することを目的として開催した。

<熱海会場>期日：令和4年5月31日（火）

<福岡会場>期日：令和4年11月22日（火）

<広島会場>期日：令和5年3月4日（土）

プログラム

<熱海会場> 令和4年5月31日（火）14:00～19:30

（和食 17名、洋食 29名 合計 46名）

① MOA美術館内自由鑑賞

② 能楽師・辰巳満次郎氏によるプレミアムトーク

③ マルタ・アルゲリッチ&人間国宝 大槻文藏スペシャル公演バッハ・パルティータ

タ×能舞の饗宴

- ④ 食事会（和・洋）（会場：和食処 花の茶屋・パティスリーヨロイツカ）
和食では花の茶屋料理長による懐石、洋食では鎧塚俊彦によるフレンチを提供

- ⑤ 工芸作品展示販売

<福岡会場> 令和4年11月22日（火）16:30～20:00 参加者34名

- ① 筑前琵琶演奏 寺田蝶美による九州伝統芸能「筑前琵琶」演奏

- ② 人間国宝による鼎談

今泉今右衛門（重要無形文化財「色絵磁器」保持者）

鈴田滋人（重要無形文化財「木版摺更紗」保持者）

福島善三（重要無形文化財「小石原焼」保持者）

ファシリテーター：室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）

- ③ 食事会

ミシュランガイド2つ星の料亭が提供する、九州の作家による工芸品と懐石料理のコラボレーション

- ④ 工芸作品展示販売

九州で活躍されている工芸作家による作品展示販売

<広島会場> 令和5年3月4日（土）13:30～17:30 参加者33名

- ① 和風堂内の茶室拝見

- ② 茶会

中国・四国地方在住の工芸作家の作品を使用した濃茶・薄茶

<濃茶>上田宗箇流家元 上田宗冑（うえだ そうけい）

<薄茶>上田宗箇流若宗匠 上田宗篁（うえだ そうこう）

- ③ 対談 上田宗冑（上田宗箇流家元）、室瀬和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）

- ④ 食事会

ミシュランガイド1つ星の料亭が提供する、工芸品と懐石料理のコラボレーション

- ⑤ 工芸作品展示販売

中国・四国地方で活躍されている工芸作家による作品展示販売

IV. 主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会やコンサート等の公演を行った。

(1) 熱海座公演

- ① 開館40周年記念「人間国宝スペシャルトーク」

期 日：令和4年4月29日（金・祝）（入場者数482名）

出演者：坂東玉三郎（重要無形文化財「歌舞伎女方」保持者）

室瀬 和美（重要無形文化財「蒔絵」保持者）

藤沼 昇（重要無形文化財「竹工芸」保持者）

土屋 順紀（重要無形文化財「紋紗」保持者）

② 箱根美術館 70 周年・MOA 美術館開館 40 周年 記念能楽公演

期 日：令和 4 年 5 月 1 日（日）（入場者数 485 名）

演 目：能 「翁」宝生流二十世宗家 宝生和英 他
狂言「塗附」和泉流 野村万蔵 他

③ 開館 40 周年記念「マルタ・アルゲリッチ&人間国宝 大槻文藏スペシャル公演バッハ・パルティータ×能舞の饗宴」

期 日：令和 4 年 5 月 31 日（火）（入場者数 487 名）

演 目：L.v. ベートヴェン／3 つのピアノ四重奏曲 第 3 番 Wo036-3 ハ長調
マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）
大宮臨太郎（ヴァイオリン）
坂口弦太郎（ヴィオラ）
市 寛也（チェロ）

仕舞 邯鄲 大槻文藏（シテ方観世流）

解説 辰巳満次郎

J.S. バッハ／パルティータ第 2 番 BWV826 ハ短調—ピアノ独奏と能舞—

マルタ・アルゲリッチ（ピアノ）

邯鄲 大槻文藏（シテ方観世流）

④井上涼 びじゅチューン！ライブ 2022 in 能楽堂

（入場者数 AM 486 名、PM 448 名 計 934 名）

期 日：令和 4 年 8 月 6 日（土）

演 目：MOA 美術館・能楽堂

⑤開館 40 周年「演能会」（入場者数 488 名）

期 日：令和 4 年 11 月 20 日（日）

演 目：能「石橋 大獅子」観世流二十六世宗家 観世清和 他
狂言「鍋八撥」和泉流 野村太一郎 他

⑥「坂東玉三郎 能楽堂特別舞踊公演」

期 日：令和 4 年 11 月 12 日（土）（入場者数 455 名）

令和 4 年 11 月 13 日（日）（入場者数 480 名）

令和 4 年 11 月 14 日（月）（入場者数 469 名）

令和 4 年 11 月 15 日（火）（入場者数 485 名）

令和 4 年 11 月 16 日（水）（入場者数 482 名）

演 目：口上～衣裳解説

秋の色種 長唄囃子連中

羽衣 長唄囃子連中

出 演：坂東玉三郎

⑦鈴木優人&読売日本交響楽団メンバーによる室内楽

期 日：令和 4 年 12 月 24 日（土）（入場者数 485 名）

出 演：チェンバロ：鈴木優人 他

⑧ 新春獅子舞

期 日：令和5年1月2日（日）（3回公演 入場者数 853名）

出 演：横浜・関古式囃子保存会

2. 主催講座

(1) 光輪花クラブ

- ① 創立者の願いである生活の芸術化を具体化すべく、光輪花クラブにおいて美術品、短歌、茶の湯等の学びを取り入れたテキスト、カリキュラムに基づき「美的生活コース」「芸術コースⅠ」「芸術コースⅡ」を推進した。

（会員合計数 4,963名）

- ② 花サロン

生活の器を工夫していけばなの楽しみ方を提案する6回型の光輪花講習会を開催し、光輪花クラブ入門コースとしての役割を持たせる。

- ③ キッズ光輪花クラブ

光輪花クラブの子ども版として「キッズ光輪花クラブ」を開催した。

- ④ 光輪花クラブ開講インストラクターへの支援（規準に基づく経費補助）

- ⑤ 光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展に参加した。また光輪花クラブホームページを制作、6月に公開した。

(2) イタリア・ボローニャ大学「岡田茂吉・美の講座」

イタリア・ボローニャ大学との協定に基づき、岡田茂吉哲学の研究と普及を進めるべく、春学期4回、秋学期1回の講座を開催した。

V. 育成事業

1. MOA美術館における研修

(1) ユース研修

青少年の健全な心と体の育成に資すべく美術教育の普及に努め、活動の牽引役となる青年人材育成のため、MOA美術館ユース研修（2回、30名）を開催した。

- (2) 美による情操教育を、ボランティアとして推進するインストラクターのリーダー的人材育成として、リーダー養成研修（2回、20名）を開催した。

2. スクールプログラム

(1) 版画「東海道五十三次」を活用した出張美育セミナーの実施

①令和5年3月9日（木） 岩倉市立南部中学校2年生3クラス 125名

②令和5年3月10日（金） 岩倉市立岩倉中学校2年生7クラス 240名

(2) 茶の湯体験

①MOA美術館

令和4年10月14日（金）浜松聴覚支援学校6名

②箱根美術館

令和4年5月31日（火）函嶺白百合学園初等科6年生 20名

3. 花による美育活動の推進－MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

(1) インストラクター数 4,175名

(2) インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。

(3) インストラクター更新研修を実施した。

(4) 新規インストラクター審査を実施し、新たに76名に資格付与した。

(5) 光輪花クラブを中心とする美育推進会合を定期的に開催した。（年6回）

VI. 経営基盤の拡充

1. 経営改善

(1) 顧客満足循環型経営への改善（職員の資質向上への取り組み等）

① 展覧会等の企画充実、インバウンド対策、広報発信力強化等をめざし、その方面の専門的な技能・知識を有する新規人材を、若手を中心に積極的に採用・育成した。

② インバウンド対策強化の一環として、職員対象の英会話研修を実施した。

(2) 文化観光拠点計画事業

令和2年度に認可を受けた「文化観光推進法に基づく拠点計画及び地域計画」を、初年度および次年度の成果を踏まえ、地元熱海市・静岡県および関連企業・団体との協働の元、公的助成を受けながら地域の文化観光発展のための事業を本年も実施した。

（全5年計画）

（主な実施事業）

① 専門業者による美術品の照明や絵巻展示用持具の活用

（助成内容：機材購入費用）

<成果・効果>

美術品の魅力がより伝わる展示に繋がり、令和4年4月1日からの大蒔絵展では蒔絵の金粉の輝きを綺麗に鑑賞できるように照明作業を整えることができた。岩佐又兵衛展では、浄瑠璃物語絵巻群の展示のためのアクリル持具を活用した。

- ② 閉館後の夜間を利用した体験プログラムの実施
 (助成内容：屋外音響機器購入費用、作業委託費)
 <成果・効果>
 12月4日の熱海海上花火大会に合わせた「冬の花火と至宝の名品～ナイトミュージアム 2022」を開催し、21名の参加者に対し、学芸員によるプレミアムトーク付き美術品鑑賞、能楽堂見学、日本料理店「花の茶屋」における懐石料理、ドリンクサービスとメインロビーからの花火鑑賞等、特別感のあるプログラムを提供。
- ③ 周遊性向上を目的とした市内文化施設での美術品展示
 (助成内容：展示作業費)
 <成果・効果>
 「名品展 国宝『紅白梅図屏風』」開催に併せて、熱海市の指定文化財「起雲閣」において紅白梅図屏風（レプリカ）を展示。起雲閣入場者が来館された際に特別割引を利用されたお客様は408名あり、市内観光の周遊性を高めることができた。
- ④ 能楽教室 体験教室と能楽鑑賞
 令和4年8月9日に実施。
 (助成内容：講座公演委託費、チラシ製作費)
 <成果・効果>
 体験教室に子どもは59名参加。能楽師による小鼓・笛等の和楽器の鳴らし方を直接指導され、家族揃って日本文化の魅力を体験していただくことができた。能楽鑑賞の前には辰巳満次郎氏による能楽講座、同氏と野村萬斎氏による演目解説により日本の伝統芸能である能楽をより身近に感じていただくことができた。
- ⑤ デジタル技術を活用した美術品や諸施設のわかりやすい解説強化
 (助成内容：wi-fi 機器購入・設置費、翻訳委託費、他)
 <成果・効果>
 ・ムアスクエアと本館への階段付近のwi-fi 環境整備、来館者の利便性の向上
- ⑥ 外国人に対するアンケート調査
 (助成内容：資料整理等賃金)
 <成果・効果>
 2月15日～3月13日の期間、外国人来訪者を対象とした国籍アンケート調査を行ない、426名の回答を得た。
 台湾 16.5%、中国 12.6%、香港 10.0%、韓国 6.0%、アメリカ 5.8%であった。
 地域別では、アジア 60.6%、欧州 19.0%、中南米 6.3%、北米 8.2%であった。
- ⑦ 工芸品の販売事業
 (助成内容：制作過程の動画撮影・編集費、オンラインショップサイト改修委託費)
 <成果・効果>
 「大蔭絵展」に合わせた人間国宝のインタビュー動画や岡田茂吉賞大賞作品の特別インタビュー動画の制作・発信、工芸制作過程の動画の制作と展示室での公開（井上涼きらきらゴールデンびじゅチュ館展、HOMO FABER 展）、SNSやホームページ上での対談動画等の公開、7万回以上の再生数を数え、工芸品売上が昨年度比21%上昇した。

- ⑧ 日本庭園導入部の道路改修、日本庭園内の看板および結界の制作設置
(助成内容：道路改修委託費、看板・結界の製作費)

<成果・効果>

昨年度に続き日本庭園内の案内看板（日英語表記）を2件（石造十三重宝塔、石造国東塔）新設した。

本館から茶の庭へ向かうアスファルト道路を和風モダンのデザインで改修工事を委託し、3月21日に完成した。来館者を日本庭園および竹林へいざなう導線として、小竹の植樹も含めて魅力のある景観の道路へと改修した。

2. 入館者増加をめざした取り組み

(1) 展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進

① ポスター掲示・チラシ配布

- (a) MOA美術館展覧会ポスターやチラシを熱海市内420か所及び全国312か所に掲出依頼した。
- (b) イベントチラシを作成し、熱海市内355か所に掲出依頼した。
- (c) 市内マンション61棟を訪問しチラシ配布掲出依頼した。
- (d) 箱根美術館特別展示のポスターやチラシを作成し、箱根町および近隣市町内の40か所に掲出依頼した。

② マスコミへの情報提供

- (a) 展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行なった。

(2) 地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

① MOA美術館

- (a) 熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。
- (b) 紅葉ライトアップ（11月27日、28日、12月4、5日 合計394名参加）
茶庭の110本余のモミジの昼間とともにライトアップをして夜も楽しんでいただき、日本一遅い紅葉の熱海で、紅葉狩りの新名所となるよう継続して開催した。

② 箱根美術館

- (a) 施設内の庭園「神仙郷」が国の名勝指定を受け、庭園内の紅葉時期に町民や近隣町内の各施設、団体等を招待し、広くご理解いただくと共に、今後の広報宣伝に繋げた。
- (b) 箱根町、箱根DMO、箱根プロモーションフォーラム等の観光関係団体と連携し、当館及び箱根全体への観光客誘致の連携を図った。

(3) 観光客の誘致・誘客の改善強化など

① MOA美術館

- (a) 熱海市内及び近郊の宿泊施設等へ「前売り券」の取り組みを行った。
- (b) 熱海寮保養所協会との特別提携を行った。

(c) 近郊の宿泊施設との入館及びイベント等のセットプラン造成に取り組んだ。

② 箱根美術館

箱根強羅公園、ポーラ美術館等、近隣施設との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ。ただし、ポーラ美術館との共通割引券は令和4年11月30日で販売を終了した。

(4) ホームページやSNS等による広報の充実

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど SNS の充実

(a) 展覧会の見どころ、イベント情報、食、四季などの発信に努めた。

(b) 「フォロワー」の獲得数等をバロメーターに、内容充実に努めた。

3. 施設の貸与事業

能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

(1) 能楽堂等の貸出

(令和4年)

- ① 4月24日 日本工芸会主催行事
- ② 6月12日 日本舞踊若柳流芙蓉会 リハーサル 45名
- ③ 6月19日 日本舞踊若柳流芙蓉会 舞踊公演当日 245名
- ④ 9月3日 ウクライナ支援 ナターシャ・グジー チャリティーコンサート
(ロイヤルリゾート主催行事)
- ⑤ 9月14日 熱海地区安全運転管理協会 講習会 176名
- ⑥ 11月25日、26日 PROJECT ATAMI 熱海アートグラント
- ⑦ 1月6日 江原啓之新春講演会
- ⑧ 1月8日 令和5年二十歳の集い(熱海市)
- ⑨ 1月15日 第22回アタミ・ジュニアグランプリ表彰式
- ⑩ 1月31日 令和4年度地震防災講演会(熱海市)
- ⑪ 2月19日 ボーイスカウト伊豆地区B-P祭

(2) 茶の庭・茶室の貸出

① 第36回 光琳茶会

令和5年2月22日・23日の2日間実施した。

参加者数： 初日 219名 2日目 189名 合計 408名

4. 美術館設備・施設(庭園を含む)改善・改修

美術館の安全確保に向けた対策

(1) 施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修

- ① 箱根美術館 切符売場入口のゲートの取替工事
- ② 箱根美術館 本館1階ロビーのカーペット張替工事

- ③ MOA 美術館 能楽堂映像収録配信システム更新
- ④ MOA 美術館 花の茶屋厨房用空調機更新
- ⑤ MOA 美術館 館内空調熱源 2 次ポンプ（冷水 P5・P6）整備
- ⑥ MOA 美術館 日本庭園アプローチ道路改修工事（文化観光推進事業）
- ⑦ MOA 美術館 3 階切符売場ゲート本体更新およびレール敷替え、地盤補強工事

(2) 美術館の防災、防犯の設備強化

- ① MOA 美術館
 - (a) 令和 4 年 6 月 23 日(木)と令和 5 年 1 月 26 日(木)の 2 回、消防署と連携して防災訓練を実施した。
また、大規模災害により来館者が美術館内で足止めをされた場合を想定した毛布・簡易トイレ・保存食料・飲料水の備蓄を追加した。
 - (b) 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。
 - (c) MOA 美術館 日本庭園内施設（二條新町、光琳屋敷）用消防用設備更新
 - (d) 防犯カメラ録画用 HDD・予備バッテリー更新を行った
- ② 箱根美術館
 - (a) 防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行った。
 - (b) 令和 5 年 3 月 17 日(金)に、自主防災訓練をおこなった。

(3) 危機管理体制の整備・強化

(MOA 美術館)

- ① 館内等での不測の事故に備えた賠償責任保険その他の保険加入を本年度の来客数規模に合わせて見直し、更新・継続した。
- ② 新型コロナウイルス感染症流行に伴う対策として、全職員がマスクを着用、設備的には入口や館施設の要所への消毒液設置、受付や飲食店舗客席への透明アクリル板の設置、手摺や手洗等の清掃・消毒の徹底などを行った。
- ③ 産業医が交代し、新たな体制の元で衛生委員会の定期開催、職場巡視、定期健康診断やストレスチェックの実施等、労働安全衛生の確保に努めた。

5. 飲食及び物品販売

(1) MOA 美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでいただくための周辺環境の整備として、以下、直営 3 店舗の運営を行った。

- ① 和食 花の茶屋
地産地消とオーガニック・自然農法素材による日本料理を提供した。
- ② the café
シフォンケーキ、ソフトクリーム等の軽食及びコーヒー等ドリンク類を提供した。

- ③ ラ・パティスリー・デュ・ミュージー・パール・トシ・ヨロイツカ
パティシエ・鎧塚俊彦プロデュースのスイーツ店を営業。人間国宝・室瀬和美デザインによるカップ&プレートで、ケーキ、軽食、ドリンク類を提供した。

(2) ミュージアムショップの運営

- ① 箱根美術館売店「光琳堂」 箱根美術館の開館日に営業を行った。
- ② 工芸ショップ（ヨロイズカ）、オンラインによる工芸作品販売

以 上

□ 処務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

- 理事会を令和4年4月1日より令和5年3月31日迄に2回開催した。
- 評議員会を令和4年4月1日より令和5年3月31日迄に1回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
R. 4. 5. 29	議案	令和3年度 事業報告及び計算書類承認の件	可決
R. 4. 5. 29	議案	定時評議員会開催の件	可決
R. 5. 3. 15	議案	令和5年度事業計画書及び収支予算書承認の件	可決
R. 5. 3. 15	議案	箱根美術館観覧料改定について	可決
R. 5. 3. 15	議案	科学研究費補助金外国旅費規程改定及び研究活動上の不正行為の対応に関する規則改正について	可決
R. 5. 3. 15	議案	理事会、評議員会の日程案の件	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
R. 4. 6. 27	議案	令和3年度事業報告の件	
R. 4. 6. 27	議案	令和3年度計算書類承認の件	可決

2. 職員の状況の件

	職員	㊦・常勤	㊦・非常勤
計	108名	51名	57名

以上